

## 平成 28 年度 第 3 回広報・広聴委員会会議報告

日 時 平成 28 年 11 月 11 日 (金) 11:40～13:00

場 所 フレンテみえ 3F 特別会議室

出席者 辻岡、相京、川上、坂口、高木、深井、  
柳沢 (事務局)

(欠席) 藤吉委員

オブザーバー 白又・奥田・中条 (富山県公文書館)

### ○協議・報告

#### (1) 協 議

##### a 会報第 101 号の進捗状況

- ・会報第 101 号 (大会特集号) の構成と原稿依頼等の進捗状況を確認した。
- ・原稿締め切りを今回は試験的に原則として 11 月末とした (大会の記憶が鮮明なうちに執筆してもらう。時間差を設け、会誌の編集との競合を避けるため)。
- ・後援の津市長挨拶を追加する (1.5 ページ、藤谷氏へ依頼済)。
- ・編集後記は、高木委員が執筆。
- ・各委員の撮影した研修等の画像データは、事務局に送付する。

##### b 会誌『記録と史料』第 27 号の構成について

- ・会誌第 27 号の構成と原稿依頼等の進捗状況を確認した。
- ・「特集にあたって」は、各原稿が出揃ったのちに深井委員が執筆。
- ・研究については、2 名の委員による査読結果が出揃ったので事務局でとりまとめ、早急に執筆者に通知する。
- ・書評については、執筆を調整していた 2 件についても内諾がとれたので、事務局から pdf で依頼を送付する。
- ・「ふぁいる」の国立公文書館「日本におけるアーキビストの職務基準」改訂版は、会誌の総ページ数が 130 ページを超えるため、次号以降に送ることとしたが、年内に改訂版が公表されることが判明したため (会長事務局に確認)、会報第 101 号の活動報告にまとめて掲載する方向で調整する。
- ・「会員刊行物情報 - 文献案内 -」については、昨年同様、機関会員に対してフォーマット (Excel) をメール送付し、データで返送してもらう方式で募集する (近日中にメール送付予定)。

個人会員に対しては、ホームページで広報を行うほか、昨年、個人会員から情報を寄せてもらった刊行物については、別途、可能な限り個人会員にメール等で呼びかける (掲載のための取りまとめは、相京委員)。

- ・編集後記の執筆は、坂口委員。

- ・各委員は、初校の段階で内容確認や校正を行う。

## c その他

### 1) 総会で出された要望事項への対応

- ・国立情報学研究所の電子図書館事業（NII-ELS）は、学協会誌の電子化に対する支援を J-STAGE に一本化するという国の方針が示されたため、平成 29 年（2017）年 3 月までに事業を終了することが予定されている。このため J-STAGE について、全史料協の会報・会誌の pdf の無料公開が可能かどうか、検討していく（当面、「掲載した電子ジャーナル等は全て公開すること」とする利用条件に合致する平成 28 年度刊行分以降を対象とする）。

ただ、J-STAGE は本年 3 月の段階ですでに申込み多数のため、今後の申込み分については、平成 29 年度以降の掲載となる旨のアナウンスがホームページで示されている。

### 2) 会報・会誌『記録と史料』ウェブ公開の進捗状況とアクセスの動向

- ・ホームページに掲載したのは 726 タイトル（32%、11 月 2 日現在）
- ・契約サーバで標準的に備わっているアクセス解析の結果（2015. 8～2016. 10）を報告。本年 4 月以降の会報・会誌記事 pdf 数の掲載増により、アクセス数は緩やかに増加、転送したデータ量が倍増している。
- ・大会期間中に参加者へ呼びかけ結果、10 名（32 タイトル）から新たに回答書をもたらすことができた。会員内外に引き続き協力を働きかけていく。

### 3) 会誌『記録と史料』の販売状況

- ・予算額 111,000 円に対して、10 月末現在で 71 冊を販売、85,200 円（送料を含まない）の売り上げがあった。